

令和7年度第2回白井市文化会館運営協議会会議録（概要）

1. 開催日時 令和7年12月16日（火） 午後3時00分から午後5時00分まで
2. 開催場所 文化センター2階 かおりホール
3. 出席者 委員 佐藤会長、吉井副会長、白岩委員、長野委員、坂巻委員、佐藤(眞)委員、鈴木委員、野口委員、田中委員
4. 欠席者 中山委員
5. 事務局 高花センター長、佐山主査、金井主任主事、能條主任主事
6. 傍聴者 5人
7. 報告事項 (1) 令和7年度自主事業について
(2) 白井市文化センター大規模改修に関する市民アンケート調査結果について
8. 協議事項 (1) 白井市文化センター大規模改修基本計画策定方針（案）について
(2) 文化センター各館機能における検討項目について
9. 議 事 以下のとおり

1 会議開催

2 報告事項（1） 令和7年度自主事業について

（事務局説明）

- ① 9月6日の自主事業について、入場料収入の1/2の935,000円が市の負担ということは、利益も935,000円ということか。（会長）

→この場合の利益を、歳入から歳出を引いた金額だとしたらそのとおりである。（事務局）

- ② 自主事業の入場者数の評価基準はあるのか。（会長）

→明確な基準は定めていないが、座席数の6割以上を目指している。（事務局）

- ③ 12月11日開催のJ:COMとNHK交響楽団のコンサートは自主事業とは別の企画なのか。（委員）

→貸館のみの対応である。（事務局）

3 報告事項（2） 白井市文化センター大規模改修に関する市民アンケート調査結果について

（事務局説明）

4 協議事項（1） 白井市文化センター大規模改修基本計画策定方針（案）について

（事務局説明）

- ① 事業者サウンディングは、委託事業者のNTTファシリティーズ（以下NTT）が対象なのか。（会長）

→事業者については、令和8年1月に公募を予定しており、幅広く意見を聞きたいと考えている。（事務局）

→市は金銭的な負担が発生するのか。（会長）

→負担は企業側にお願いをする。（事務局）

→企業側のメリットとしては、サウンディングに手を挙げて、将来的に事業に参加する可能性を期待することか。（会長）

→そのとおりである。（事務局）

→今回のサウンディングの方法だと、企業側の言いなりになってしまうのではないかと。（委員）

→内容については基本計画の策定を委託しているNTTと共有し、検討していく。（事務局）

→NTT が組み立てて吟味等するという考えでよろしいか。(会長)

→今回のサウンディングは行政主導であり、意見の吟味等については NTT の判断も仰ぐ予定である。(事務局)

② 大規模改修事業はどのような体制をとっているのか。(会長)

→事業担当は、準備室として室長ほか1名と各館(文化会館、図書館、郷土資料館、プラネタリウム館)の担当職員、また NTT でも各館についてのプロジェクトチームを組んでいる。(事務局)

③ 文化会館は音響が一番重要だと思っている。当時の音響設計者の意見を入れると、今回のアンケートに沿った形になると提言する。(会長)

5 協議事項(2) 文化センター各館機能における検討項目について

① 中ホールの「床仕上げ変更の検討」は、絨毯仕上げの検討という認識でよろしいか。(会長)

→音楽やダンス発表の機能を残してほしいというアンケートの回答をいただいているなかで、絨毯仕上げを含めた防音・防振性能についての検討である。(事務局)

→ぜひ防音性能をあげていただきたい。(会長)

② アンケート結果を踏まえると、共用スペースには、勉強している合間にも利用できる食に関する販売所をつくってほしいのではないかと感じた。(委員)

→レストランやカフェを入れるのか、飲食可能な休憩スペースにするのか等、サウンディング調査を含めて検討していく。(事務局)

→現状は共用スペースに業者が入っていないことを考えると、採算が難しいのではと考えられる。一日単位の貸出しや、仮に共用スペースを飲食ができるようにするならば、駐車場にキッチンカーのスペースを確保して展開する等で、ある程度の食に関する問題にも対応できると考える。(会長)

③ 中庭のスペースにオープンカフェや足湯を設置するのはどうか。人を呼び込めれば業者が集まりやすいのではと考える。高齢者が市役所との行き来が難しいという点については、トックトック(三輪自動車)を病院も結び巡回させるのはどうか。裏庭についても、ニューヨーク市のような簡易結婚式が挙げられるような、集いの場所を作ればよいと考える。(委員)

④ アンケート結果を見て、文化センターはそのまま維持してほしいという意見が多かったが、費用面を考えると削減する部分を考えなければならないと思う。第五楽屋については、現在の畳から板の間等にするのはどうか。(委員)

→第五楽屋は、和室として使用している団体もあり位置づけが難しい。(会長)

→改修については、まず安全面に係ることを第一に考えている。各機能については、現在の機能の利用頻度が少ない部分については、縮小の検討も考えている。(事務局)

→現時点で縮小対象の事務局案はあるのか(会長)

→具体的にはない。(事務局)

→大ホールの2階に会議室があるが、利用頻度は少ないのではないか。(会長)

→現在は倉庫用途として運用している。(事務局)

⑤ 集客問題について、営業部門を新設したらどうか。(委員)

→運営体制に係ることになると思うが、今後、指定管理者制度等検討してほしい。(会長)

→営業部門については、しろい観光交流協会を含めて情報を発信していければと考える。指定管理等の運営体制については検討の対象になっている。(事務局)

→運営体制については、財団化して専門家集団にすべきと考える。(委員)

⑥ 広域施設連携の考え方について、駅前の活性化を含めて道の整備等含めて文化会館の魅力が上がるよう検討

してほしい。(会長)

→他の部署とも調整しながら、改善できるように整理していきたい。(事務局)

⑦ 基本計画方針策定について、次回の運営協議会では具体的なものが示されるのか。(委員)

→各館の運営協議会でいただいている意見を取りまとめた資料を提出したいと考えている。(事務局)

→市民アンケートの結果を踏まえた方針を示してほしい。(会長)

⑧ 施設全体の共用スペースについて、時代によってニーズが変わることを考えると、フレキシブルに使えるような施設にしてもらいたい。また、貸館の運営方法についても時間貸しのような、少人数の団体でも借りやすい仕組みを考えてほしい。(委員)

6 会議閉会